

基本的教育と識字率向上月間 リソースのご案内

各資料名をクリックすると、電子ファイルをご覧いただけます。印刷冊子をご入用の際は、[オンラインショップ/Rotary Shop](#)または出版物注文用紙よりご注文をお願いいたします。

< 出版物 >

➤ [基本的教育と識字率向上 プロジェクト戦略](#) (資料番号：618) [電子版のみ]

プロジェクト戦略において、地域社会のニーズ調査におけるアイデアの紹介やロータリー提供の参考資料/リソースを最大限に活用する方法を紹介しています。

プロジェクト立案の際、総合的に役立ていただける1冊となっております。

(2015年7月版)

➤ [ロータリーの重点分野](#) (資料番号：169) [印刷冊子：一冊 2.00 ドル]

ロータリー「6つの重点分野」の活動を総合的に紹介した冊子です。各分野における世界的な課題、それに対するロータリーの取り組みをプロジェクト例や関わった方々の声とともに紹介した、力強いビジュアルメインの冊子です。教育の支援分野における紹介は、8-11ページをご参照ください。

(2018年1月版)

➤ [ロータリーの重点分野ガイド](#) (資料番号：965) [電子版のみ]

ロータリー「6つの重点分野」をプロジェクト例とともに簡潔に解説したパンフレットです。基本的教育と識字率向上分野に関しては、11-12ページをご参照ください。

(2015年5月版)

< RI ページ >

➤ [教育の支援](#)

ロータリーが行う「教育の支援」の目標は、地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高めていくことです。

6つの重点分野の1つ、「教育の支援」についてロータリーの活動ページです。

< ウェブ掲載記事 >

➤ [夢を背負って、未来へ ～思い出のランドセル、金沢からミャンマーへ～](#)

金沢南ロータリークラブがクラブ創立50周年を迎え、「国際奉仕」をテーマにした事業を行いました。子供たち、父兄の皆さんのご協力により、金沢市内の小中学校卒業生のランドセルを100個ミャンマーへ寄贈しました。金沢の子供たちの夢の詰まったランドセルや文房具を使って学び、自国の発展だけでなく、世界の人々の友情と平和に貢献できる大人になることを期待したいと思っております。

(2019年8月、Rotary Voice ページより)

➤ リテラシーの奉仕

ロータリーでは、図書の寄贈や教師研修など、識字力の向上を目的とした多くのプロジェクトが実施されています。日本では、成人の英語力低迷や移民が直面する日本語理解の壁といったニーズがあるものの、発展途上国にあるような深刻な識字ニーズはありません。リテラシーという観点からニーズを考えることで、奉仕プロジェクトの可能性を広げることができるため、一例として日本で実施されたプロジェクトを紹介しています。

(2018年10月、Rotary Voice ページより)

➤ 不登校の難題にクラブ・京都市・専門機関が動く

京都洛中ロータリークラブは、不登校支援に取り組もうと昨年度市民向けの「不登校の子どもたちへの支援フォーラム」を事業の柱に据えました。会員自身も不登校の現状理解に努め、昨年11月に開催した“クラブ手作り”のフォーラムでは、市民・教育関係者約180人が参加しました。

(2018年5月、Rotary Voice ページより)

➤ 教育支援—できることから

ロータリー会員の教育分野での活動は、教師養成から学用品の配布までなど多岐に渡ります。日本の3つのクラブの簡単な活動事例の紹介です。

(2017年10月、Rotary Voice ページより)

➤ 教師を育てる

ロータリーの識字率向上の取り組みは、教員の「教える力」を高める支援にも力をいれています。グアテマラの研修プロジェクトでは、現地の教師たちに「子供の思考力を高める」授業のメソッドを研修することから始め、現地の子どもたちの学習成果の向上に努めました。

(2017年1月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

➤ 最前線での教育

2010年、エンサインさんはナイジェリア・アメリカン大学の学長に赴任しました。虐殺やテロリストによる襲撃がもたらした深刻な難民危機が訪れる中、彼女の一大プロジェクトは、テロリスト集団の襲撃から逃れてきた難民が飢えに苦しまないよう、大学、ロータリアン、各宗教の指導者と協力し彼らの命をつなぐ活動でした。

(2017年1月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ（日本語）は» [こちら](#)

■ ロータリー・ショーケースは» [こちら](#)

< 映像資料 >

➤ [フィジーでよいことをしよう](#)

フィジーの子どもたちは、高校を卒業するとテクノロジーを使用する機会が多くなります。それに備え、ロータリーはグローバル補助金を活用し、オークランド技術大学と協力して地元の高校にデジタル学習室を作りました。
(2014年) [日本語、5分18秒]

➤ [日本でよいことをしよう：教育の支援](#)

ロータリー財団は2011年の東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れた大槌町の小学校に、新しいピアノを贈呈しました。ピアノに合わせて歌う子供たちが印象的な映像資料です。
(2012年) [日本語、3分43秒]

➤ [世界でよいことをしよう：教育の支援](#)

アメリカ・ニューオーリンズ市は、2005年のハリケーン・カトリーナ被害により市の80%が浸水、多くの学校が崩壊しました。「自分たちの街の自分たちの学校」という思いをともにした人びとが団結し、現地の学生はロータリー財団とボランティアの支援を受け、学校再建を実現しました。
(2012年) [日本語、3分06秒]

➤ [Key to Literacy](#)

ブラジル・コンテタジェンは若者や移民が多く、さらに貧困層の多い地域です。1990年代、現地の教育者たちは恵まれない子どもたちへの教育方法を探していました。そこでロータリーは教員に生徒参加型授業の教授法を研修し、地域の子どもの識字率向上を目指しました。
(2011年) [日本語、12分59秒]

～教育の分野での活動を分かりやすく簡潔に紹介、ご支援を呼びかけています。～

➤ [Give the Gift - EDUCATION](#) (2017年) [英語字幕、15秒]

➤ [あきらめない](#) (2017年) [日本語、33秒]

➤ [ご協力をお願いいたします](#) (2014年) [日本語、1分22秒]

■ Vimeo RI ページ (日本語) は» [こちら](#)